

令和3年度
燕市教育行政評価結果報告書

目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育委員会の事業一覧

1. 令和3年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 3

III. 点検・評価の結果

【令和3年度評価対象事業】

1. 「つばめキッズファーム事業」・・・・・・・・・・・・・・ 13
2. 「燕キャプテンミーティング」・・・・・・・・・・・・・・ 15
3. 「Good Job つばめ推進事業」・・・・・・・・・・・・・・ 17
4. 「児童館運営事業」・・・・・・・・・・・・・・ 19
5. 「療育支援事業」・・・・・・・・・・・・・・ 21
6. 「保育所広域入所委託事業」・・・・・・・・・・・・・・ 23
7. 「中央公民館事業」・・・・・・・・・・・・・・ 25
8. 「図書館管理運営費」・・・・・・・・・・・・・・ 27
9. 「文化財保護事業」・・・・・・・・・・・・・・ 31

【第2次燕市学校教育基本計画】

10. 「第2次燕市学校教育基本計画」・・・・・・・・・・・・・・ 33

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 松 井 淳	元燕市立燕北中学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議会委員
委 員 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

令和3年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、9事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第2次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和4年 6月22日(水)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員12名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価作業 ・第2次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和4年 7月28日(木)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員12名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書取りまとめ

II. 教育委員会の事業一覧

1. 令和3年度に実施した主要事業一覧

学校教育課

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
1	Jack & Betty プロジェクト	外国語指導助手（ALT）2人（11月から3人）と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、English Winter Special、夏休み英会話教室を引き続き実施し、英語力の向上に努めました。 一方で、感染症の影響により、親善大使海外派遣事業は中止としましたが、代替として国内英語研修（福島県プリティッシュヒルズ）への親善大使派遣を行ったこと及びALTの増員に伴う人件費の増加により、令和2年度比で2,700千円の増となりました。
2	特別支援学校就学援助事業	当市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 また、県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。送迎バスの利用希望者の増加に伴い、登下校1便ずつの運行を、登校2便、下校1便へ増便したため、バス運行委託料や整備に係る費用の増加により、令和2年度比で1,532千円の増となりました。
3	奨学金貸付事業	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。 なお、感染症の影響により家計が急変した学生などを支援するための貸与型就学援助金制度が令和2年度のみの実施だったことなどにより、令和2年度比で8,792千円の減となりました。 ・奨学金貸付金 146人 65,700千円
4	学校教育管理費	教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用などにより、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。 平成26年度から運用していた教育系システム基盤におけるサーバ及びネットワーク機器の老朽化による機器の更新が必要となり、それに伴うサーバ移設業務委託料やルータ・スイッチ設定業務委託料、新たな教職員用データセンター借上料などが増加し、令和2年度比で7,198千円の増となりました。
5	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を図るため、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を推進しました。 加えて、地域ボランティアの活用による「放課後などの学習支援活動」にも取り組み、児童生徒の学力向上を図りました。 【補助学校数及び補助額】 20校 4,142千円
6	ICT教育推進事業	これまで燕市で整備を進めてきた普通教室の電子黒板や1人1台の情報端末の整備、ICT支援員の配置を引き続き行いました。 令和2年度中にGIGAスクール構想関連の環境整備を行ったため、令和2年度比で334,531千円の減となりました。
7	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、地域の歴史や文化などを楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成30年度改訂）」を活用し、各小学校で、燕長善タイムなどの時間を利用した学習を行いました。 また、令和3年度から、学校で1人1台配付されているタブレットを用いて検定を行いました。令和3年度の燕ジュニア検定は、市内小学生2,326人が受検しました。
8	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費補助を行いました。 令和3年度は、全国スポーツ大会の開催が令和2年度よりも増加したことにより、令和2年度比で補助件数が52件の増、補助額が1,464千円の増となりました。 【補助件数及び補助額】 ・小学生 21件 416千円 ・中学生 39件 1,345千円
9	長善館学習塾事業	令和2年度に引き続き、感染症感染拡大の状況を鑑み、南魚沼での宿泊体験や市内事業所での職場体験は実施せず、市内の小学5・6年生を対象に、ドローンを操縦して撮影した映像を編集し、燕市をPRするビデオの制作と、新潟工科大学と連携し、効率の良い換気方法について学ぶサイエンス教室を実施しました。

学校教育課

(続き)

No.	主要事業名	事業の概要
10	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣していましたが、令和2年度に引き続き、感染症感染拡大の状況を鑑み、派遣を行わないこととしました。 なお、その代替として、千羽鶴の作成およびDVD鑑賞による平和学習を各中学校で行いました。
11	笑顔で入学支援事業	市内の小学校15校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援としてリーフレットの配布や講演会を実施しました。 なお、令和2年度は感染症拡大の影響により中止した講演会を令和3年度は実施できたため、令和2年度比で103千円の増となりました。
12	燕キャプテンミーティング	市内中学校のリーダーを育成し、資質の向上を図るため、11月23日、27日の2日間で、講演会や実技指導を行いました。延べ135人の中学1～3年生が参加しました。
13	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しています。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。
14	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 団体：4件 1,000千円
15	つばめキッズファーム事業	市内の小学校15校を対象に、子どもたちが農業の収穫の喜びを体験することで、子どもたちを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための機会を設け、補助金を交付しました。 【補助学校数及び補助額】 15校 1,378千円
16	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア講演会及びマナー講習会の実施を行いました。 感染症感染拡大を受け、職場体験は各事業所へ訪問は行わず、オンラインでの実施としました。
17	高校とともに創る輝く人材育成事業	平成29年3月29日に県へ提出した「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。
18	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学などへの入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者などに対し、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。
19	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（全9回コース）※うち1回中止」を実施し、小学校5・6年生16人が参加しました。 また、未経験者を対象とした入門教室（2回を予定していましたが、感染症拡大を受け1回のみ開催）や学校への教材の貸出を行うなど、小学生を対象としたプログラミング学習に取り組みました。 なお、燕市にて開催されたWRO Japan新潟大会予選に2チームが出場しました。
20	つばくろいきいきスポーツクラブ事業	生徒の知・徳・体のバランスの取れた成長を促すため、中学校の部活動の適切な活動時間などを示しました。一方で部活動以外にも体力や技術の向上を目指したいなどの生徒・保護者や指導者のニーズに対応するため、運動部活動を補完するクラブを令和元年度から設置し、引き続き活動しています。
21	実習生応援PCR検査費用助成事業	燕市在住または燕市出身で、教育免許や保育士資格などの取得のため、市内または近郊の教育・保育施設や医療施設、社会福祉施設などで実習を行う学生を対象に、PCR検査にかかる費用の一部を助成しました。 ・1人1回、上限15千円
22	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	児童生徒の学力向上に加え、これからの社会において主体的に学び続け、自律した社会人となるため、学ぶ意欲の土台となる「読解力」の育成に取り組みました。
23	ICT教育推進事業[明許繰越]	国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒用情報端末に対するWEBフィルタリングソフトウェアを導入しました。

学校教育課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
24	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）や、いじめ・不登校などの予防早期発見に有効な客観的データが得られる学校生活の満足度検査（Q-U）を実施しました。
25	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員15人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導などを行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。なお、年度途中で欠員が生じたことなどにより令和2年度比で2,177千円の減となりました。
26	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力など）の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。
27	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	教育学部の教授（准教授）による、最新の学術理論にもとづいた授業実践を市内の小中学校で展開するとともに、市内各校へ研修内容を広め、教職員の指導力向上を図りました。
28	学校不適応・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。
29	スクールソーシャルワーカー派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員などに対し支援を行い、問題の解決を図りました。
30	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に適応指導教室を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、学校生活への復帰を支援しました。
31	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校に学習支援を目的とする別室登校支援員を配置し、生徒の学習やクラスへの復帰を支援しました。
32	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
33	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて子どもが積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小・分水小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。 令和3年度から分水小に言語通級教室を開設するための備品を令和2年度に購入したことから、令和2年度比で697千円の減となりました。
34	教育センター運営費	教育関係職員などの研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。
35	視聴覚ライブラリー運営費	DVD、ビデオなどの教材や機材の貸出により、映像を取り入れた教育に関する支援を行いました。
36	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集會を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。また、いじめ防止対策等専門委員会を8回開催しました。市内中学校5校を対象に泥かぶらの鑑賞会を実施したことから、令和2年度比で1,014千円の増となりました。
37	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修などを実施しました。
38	遠距離通学支援事業[小学校]	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
39	松長小学校の今後の在り方検討事業	松長地区の児童数が減少し、令和5年度以降は2つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況を踏まえ、松長地区の子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、「松長小学校の今後の在り方検討会」を設立し、松長小学校の今後の在り方について、地域の代表者や保護者などによる検討会を9回開催しました。
40	教育振興費[小学校]	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者などに対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設などに出かけて学習するための支援を行いました。 就学援助認定者数減少などの理由により、令和2年度比で2,729千円の減となりました。

学校教育課

(続き)

No.	主要事業名	事業の概要
41	理科教育等設備整備事業[小学校]	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
42	小学校整備事業	燕西小学校図書室冷暖房設備改修工事（4,620千円）や小池小学校屋外運動場防砂ネット張替工事（3,025千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。
43	小学校屋内運動場照明器具改修事業	HID灯の生産終了に伴い、燕北・小池・分水北小学校の屋内運動場照明のLED化を行いました。
44	燕北小学校駐車場整備事業	旧燕北幼稚園を解体し、隣接する燕北小学校の駐車場として整備を行いました。
45	小学校トイレ施設等改修事業	感染症の防止を図るため、老朽化が進んでいる燕東・燕南・大関小学校のトイレについて、乾式化・洋式化改修工事の設計を行いました。
46	大関小学校屋内運動場外装等改修事業	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具などについて、改修工事の設計を行いました。
47	分水小学校屋内運動場外装等改修事業	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具などについて、改修工事の設計を行いました。
48	分水北小学校屋内運動場外装等改修事業	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具などについて、改修工事の設計を行いました。
49	小学校感染症対策施設改修等事業[明許繰越]	感染症の防止を図るため、老朽化が進んでいる燕西・小池・大関・分水北・分水・島上小学校のトイレについて、乾式化・洋式化改修工事を行いました。
50	小中川小学校屋内運動場外装等改修事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具などについて、改修工事を行いました。
51	遠距離通学支援事業[中学校]	遠距離通学生徒に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、通学の支援と保護者負担の軽減を図りました。
52	教育振興費[中学校]	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者などに対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設などに出かけて学習するための支援を行いました。就学援助認定者数減少などの理由により、令和2年度比で2,914千円の減となりました。
53	理科教育等設備整備事業[中学校]	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
54	部活動外部人材活用事業	市内中学校の運動部活動に専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として11人を派遣し、運動部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。令和2年度の6人から11人へ増員したことに伴い、令和2年度比で1,434千円の増となりました。
55	部活動の在り方検討事業	令和5年度以降の休日の部活動における段階的な地域移行が示されたことを踏まえて、燕市の部活動全般について検討していくことを目的とした部活動の在り方検討委員会を設置しました。
56	中学校整備事業	吉田中学校の教室ガスFF暖房機改修工事（990千円）や分水中学校グラウンドフェンス改修工事（957千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。
57	中学校屋内運動場照明器具改修事業	HID灯の生産終了に伴い、小池中学校の屋内運動場照明のLED化を行いました。
58	中学校トイレ施設等改修事業	感染症の防止を図るため、老朽化が進んでいる燕中学校トイレについて、乾式化・洋式化改修工事の設計を行いました。
59	中学校感染症対策施設改修等事業[明許繰越]	感染症の防止を図るため、老朽化が進んでいる燕北中学校トイレについて、乾式化・洋式化改修工事を行いました。
60	学校衛生管理費	児童生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。なお、感染症対策のための衛生用品購入などは、感染症対策などの学校教育活動継続支援事業で対応したことなどにより、令和2年度比2,779千円の減となりました。

学校教育課

(続き)

No.	主要事業名	事業の概要
61	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業[明許線越]	市内小中学校において、感染症対策を徹底しながら十分な教育活動を継続するための各種物品（保健衛生用品の追加購入、校舎消毒に必要な物品、三密を避けて換気を徹底するために不足する物品など）を購入、また定期的な教室などの消毒作業を業務委託しました。
62	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒に対して、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・年間食数（小学校798,993食、中学校413,395食） ・給食1食単価（小学校275円、中学校320円） ・平均給食回数（小学校約195回、中学校約188回）

子育て支援課

No.	主要事業名	事業の概要
63	児童福祉総務費	令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2期燕市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うための、燕市子ども・子育て会議を開催しました。
64	保育園運営費	次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園14カ所（令和4年3月31日現在、園児数1,178人）と市立認定こども園2カ所（令和4年3月31日現在、園児数227人）で保育を実施しました。 地蔵堂保育園および笈ヶ島保育園の閉園などにより、令和2年度比で44,228千円の減となりました。
65	保育園整備事業	燕南こども園の屋上防水改修工事やつぼみ保育園の冷暖房設備改修工事を行うなど、保育環境改善工事を実施しました。
66	私立認可保育所経費	市内の私立保育園3カ所（令和4年3月31日現在、園児数411人）の委託料及び、地域型保育所3カ所（令和4年3月31日現在、園児数46人）の施設型給付費を負担しました。 令和2年度10月や令和3年度4月に保育園から認定こども園に移行した園があったことなどにより令和2年度比で29,925千円の減となりました。
67	保育所広域入所委託事業	家庭の事情により、市内の保育園などへの通園が困難な児童について、市外の保育園へ保育を委託しました。
68	私立認定こども園経費	市内の私立認定こども園4カ所（令和4年3月31日現在、園児数661人）の施設型給付費及び市外の私立認定こども園7カ所（令和4年3月31日現在、園児数8人）の施設型給付費を負担しました。 令和2年度10月や令和3年度4月に保育園から認定こども園に移行した園があったことなどにより、令和2年度比で168,653千円の増となりました。
69	西燕保育園空調設備改修事業	老朽化した西燕保育園の空調設備の改修を行いました。
70	燕こども園駐車場整備事業	不足していた職員駐車場用地を取得し、既存の駐車場スペースと合わせ舗装などの整備を行いました。
71	旧地蔵堂保育園園舎等解体事業	令和2年度末で閉園した地蔵堂保育園の園舎の解体工事に向け設計を行い、解体工事の発注を行いました。なお、解体工事の竣工は明許線越により、令和4年度中となります。
72	小池保育園・水道町保育園用地拡張事業	小池保育園及び水道町保育園における保護者駐車スペースの不足に対応するとともに、新たな運営事業者による施設整備の実施や、円の運営が円滑に行われるよう、事業者の公募に先立ち保育園敷地拡張を図るとともに、必要となる工事の設計を行いました。
73	児童館運営事業	遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、7カ所の児童館の運営を行いました（令和3年度実績来館者数：27,061人）。館内清掃・消毒などにかかる人件費増のため、令和2年度比で5,881千円の増となりました。
74	児童研修館運営事業	子どもたちの豊かな感性を育む場として、また、親子のふれあい交流の場として、こどもの森の運営を行いました。（令和3年度実績来館者数：5,598人）。
75	東児童センター改修事業	老朽化した東児童センターの外壁、電気設備、冷暖房設備などの改修やトイレの洋式化・乾式化を行いました。

子育て支援課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
76	児童クラブ運営事業	就労などにより、昼間保護者が家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：16カ所、登録児童数786人（令和4年3月31日現在））。
77	子どもの居場所運営事業	B&G財団の助成金を活用し、児童クラブの機能をもつ新たな子どもの居場所を開設し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（登録児童数12人（令和4年3月31日現在））。
78	なかまの会の児童クラブ化推進事業	南のなかまの会（燕南小学校区）での児童クラブ新設に向け、既存学校施設の改修を行いました。 また、燕北小学区においての児童クラブ新設に向け施設の改修するための設計を行いました。
79	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、5カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数420人：延べ34,175人）。
80	地域子育て支援事業	子育て家庭の育児相談や子育て情報の提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内7カ所の子育て支援センターで実施しました。 また、「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業（平成24年申請受付終了）」で、中学校入学者などに子育て支援金を支給しました。 令和2年度末のさくらんぼハウスの閉館などにより、6,315千円の減となりました。
81	ファミリー・サポート・センター運営事業	安心して子育てや仕事を行うために育児サポートを行うファミリー・サポート・センター事業を実施しました。
82	病児・病後児保育事業	病気や病後で通園または通学ができず、家庭での療養も困難な子どもを、病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）で一時的に預かり、保護者の就労と子育ての両立を支援しました（令和4年3月31日現在事前登録者数：1,991人、利用者数：422人）。
83	地域子育て支援講座事業	赤ちゃんを初めて育てているママのための仲間づくり・親子の絆づくりのプログラムや、同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とするプログラムを実施しました。
84	療育支援事業	発達障害など特別な配慮を要する子どもの支援体制推進のために、相談業務、園訪問、各種研修などを実施しました。
85	子育てのための施設等利用給付事業	幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園・認定こども園の在園児が預かり保育事業を利用した場合などに、その利用料相当額を支給しました（48件） 認可外保育施設の利用者増、過年度利用分の請求の増により、令和2年度比で763千円の増となりました。
86	育児家庭応援事業	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳幼児のいる世帯を対象に、おむつ用ごみ袋を支給しました（令和3年度実績：0歳児529人、1歳児13人）
87	子育てアプリ事業	予防接種などのお知らせ情報発信機能や子どもの成長記録、妊婦の健康管理機能などを備えたスマートフォン向けのアプリ「燕市子育てアプリはぐはぐ」を導入し、子育て世帯向けの情報を発信しました（令和4年3月31日現在登録者数1,685人）。
88	つばめ子育て応援カード事業	妊婦及び中学生以下の子供を養育する保護者に対し、“つばめ子育て応援カード”を発行し、事業者などの協力のもとに子育て家庭を応援するとともに、「社会全体で子育てを支えていこう」という気運の醸成を図りました。（令和4年3月31日現在カード発行者数9,789人、協賛企業72社）。
89	全天候型子ども遊戯施設整備事業	全天候型子ども遊戯施設の整備に向け、基本構想を策定するとともに、事業認定および、事業用地の測量設計業務を実施しました。
90	感染症対策生活支援事業	感染症感染拡大防止のため、小中学校や保育園などが休校・休園の間、入院加療中及び保健所の助言に基づく健康観察期間中の外出が困難な世帯に対し、ネットスーパーなど利用に係る配送料及び弁当など購入費の補助を行いました（令和3年度実績：ネットスーパー33世帯、弁当など購入費37世帯）。
91	幼稚園運営費	市立幼稚園1カ所（令和4年3月31日現在、園児数14人）で幼児教育を実施しました。 また、市外の私立幼稚園へ区域外就園した児童のための施設型給付費を負担しました。 なお、令和3年度予算編成において、幼稚園総務費と費目を統合したことなどにより2,874千円の増となりました。

社会教育課

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
92	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
93	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和4年度）の進捗管理及び、第3次燕市生涯学習推進計画の策定について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（2回）を開催しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。 なお、第3次燕市生涯学習推進計画策定に向けた市民意識調査を実施したことなどにより、令和2年度比で370千円の増となりました。
94	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回、うち1回は書面）を開催しました。また、必要な研修会に参加しました。
95	成人式事業費	感染症の影響により延期していた令和2年度の成人式を令和3年11月20日に文化会館、吉田産業会館、分水公民館の3会場に分散して開催しました。 また、自主的に参加を控えた新成人のために会場の模様を動画配信するとともに、欠席者を含む対象者全員に記念品を贈呈しました。 なお、令和4年3月20日に予定していた令和3年度の成人式は令和4年11月20日に延期して開催します。
96	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。
97	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学、子ども体験講座、スマホ教室、風の子くらぶなどの講座を開催しました。
98	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。
99	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭を行うとともに、成人や青少年を対象として講座を行いました。
100	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。
101	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。
102	市民交流センター管理運営費	燕市民交流センターの管理運営を行いました。
103	吉田公民館改修事業	吉田公民館改修工事（内装、外部建具、エレベーターなど）の設計を行いました。
104	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。 なお、修繕箇所が増加により、令和2年度比で1,769千円の増となりました。
105	図書館管理運営費	図書館協議会（2回 うち1回は書面）を開催し、「第2次燕市子ども読書活動推進計画」の進捗管理や図書館運営について協議しました。 また、市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。 なお、図書館指定管理委託料を増額したことにより、令和2年度比で16,123千円の増となりました。
106	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。 また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。
107	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況などについて協議しました。 なお、ドレンチャー設備の修繕工事などにより、令和2年度比で4,180千円の増となりました。
108	文化会館自主事業	文化会館の自主事業として、市内小学校合同演劇鑑賞会など6事業を開催しました。 なお、令和2年度の自主事業は、感染症の影響により中止とした事業があったことから、11,797千円の増となりました。
109	分水良寛史料館管理運営費	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。 なお、通水100周年に向けた展示資料表装業務委託を行ったことなどにより、令和2年度比1,347千円の増となりました。

社会教育課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
110	長善館史料館管理運営費	長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。 また、引き続き、筑波大学と連携し、長善館門下生の動向や教育内容についての調査研究を行いました。 なお、案内看板設置工事などを行ったことにより、令和2年度比179千円の増となりました。
111	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備などを行いました。 なお、文化財収蔵庫の外壁・屋根修繕工事などにより、令和2年度比で10,037千円の増となりました。
112	埋蔵文化財事業	市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。 また、遺跡出土品展を開催して、埋蔵文化財の公開活用にも努めました。 なお、令和2年度に稲葉遺跡の現場調査が終了したことから、令和2年度比で41,918千円の減となりました。
113	文化振興事業	文化団体（文化協会、郷土史研究会連合会）に対する活動支援、燕市美術展覧会、良寛書道展の開催、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 なお、令和2年度に「つばめっ子かるた」を増版したことから、令和2年度比で789千円の減となりました。
114	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。 なお、感染拡大に伴う行動制限が緩和されたことを受け、全国大会などへの出場激励金の交付額が回復したことなどから、令和2年度比で773千円の増となりました。
115	生涯スポーツ振興費	燕さくらマラソン大会や健康づくり教室、各種スポーツ大会を開催しました。 なお、2年ぶりに燕さくらマラソン大会を開催したことに加え、地域おこし協力隊経費を「スポーツ拠点化推進事業」から移管したことなどにより、令和2年度比で16,624千円の増となりました。
116	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第9回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会を愛媛県松山市で開催する予定でしたが、感染症の影響により中止となりました。 なお、燕市代表チームの選手には、直筆サインボールなどスワローズにちなんだ記念品を贈呈しました。
117	ホストタウン推進事業	ホストタウンとしてモンゴル国パラアーチェリー選手団とオンライン交流を行いました。また、聖火リレーセレモニーやパラリンピック聖火フェスティバルを開催するとともに、トップアスリートによる講習会などを開催しました。 なお、聖火リレーや聖火フェスティバル、講習会の実施などにより、令和2年度比で5,209千円の増となりました。
118	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行いました。また、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。 なお、令和2年度に比べて感染症の影響が少なく、減収に伴う指定管理委託料の増額幅が減少したため、令和2年度比で21,163千円の減となりました。
119	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 なお、令和2年度に臨時的に職員の退職手当の支給などがあったことから、令和2年度比で5,190千円の減となりました。
120	分水総合体育館改修事業	分水総合体育館の天井の耐震化・床の張替え、照明のLED化、トイレの洋式化、内外装などの改修工事を行いました。 なお、令和2年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和2年度比で529,267千円の増となりました。
121	スポーツパークテニスコート改修事業	スポーツパークテニスコートの地盤改良、人工芝の張替え、ナイター照明のLED化、防球フェンスの設置などの改修工事を行いました。 なお、令和2年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和2年度比で124,355千円の増となりました。
122	スポーツランド燕改修事業	スポーツランド燕の体育館、屋内練習場、外灯、ナイター設備の照明LED化改修の設計業務を委託しました。 なお、令和2年度に野球場のフェンスの更新及び防球ネットの新設工事を行ったため、令和2年度比で46,661千円の減となりました。

社会教育課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
123	燕市民武道館改修事業	市民武道館のトイレの洋式化、空調設備の整備などの改修工事を行いました。 なお、令和2年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和2年度比で86,364千円の増となりました。
124	小中川小学校グラウンドバックネット等整備事業	小中川コミュニティセンター用地を購入するため、用地測量業務を委託しました。 なお、一部の境界が確定しなかったため、6,890千円を令和4年度に繰り越しました。
125	吉田トレーニングセンター (ビジョンよしだ)大規模改修事業	吉田トレーニングセンターの大規模改修工事のほか、令和2年度の設計などに基づき、先行して冷温水発生機仮設置工事を行いました。また、改修に伴い備品などの運搬、廃棄の業務委託を行いました。
126	吉田トレーニングセンター (ビジョンよしだ)大規模改修事業[明許繰越]	吉田トレーニングセンター大規模改修工事の設計業務委託を行いました。
127	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。 燕西小学校グラウンドの防球ネット張替工事などにより、令和2年度比で5,838千円の増となりました。
128	学校開放施設ナイター設備改修事業	5カ年計画で実施予定の小中学校ナイター設備(11校)のLED化改修の設計業務を委託しました。

Ⅲ. 点検・評価の結果

【令和3年度評価対象事業】

令和3年度 教育行政評価報告書

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	つばめキッズファーム事業
3年度達成目標	収穫の喜びを体験し、自らを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、農業従事者との交流を通じて、自分の住んでいる地域を知ることや、児童の農業に対する関心を高めることを目標とする。
目標の達成状況	新型コロナウイルス感染症により、農業体験を通じた地域の交流などが予定どおり実施できないこともあった。その中で、学校だけでは行うことができない事業に対し、地域の方々の力を借りて実施することができた。このことは児童にとって貴重な体験であり、農業に対する関心が高まった。
取組の概要	・ 小学校で実施している農業体験事業に対し補助金を交付する。 小学校 1 校あたり 上限額 100,000 円 市内小学校で実施している農業体験や、講師を招いての学習活動などの実施に係る経費を対象としている。
自己評価	農業体験や農業従事者との交流を通じて、農業の楽しさ、厳しさを知ること、自分が住んでいる地域やふるさとへの愛着と誇りを育む教育につながっている。この事業は、子どもたちが農業に対して関心を持ち、自分の将来設計を考える機会となるものと捉えている。
評価委員の評価	農業体験や地域交流を行うにあたり、学校だけでは活動の広がり に限界があると思われる。 市教育委員会が農村地域アドバイザーや地元企業と連携し、学校 が企画する段階で計画しやすいよう、取組例をパッケージで提案で きないか。 子供たちの意欲が高まるような題材で、ぜひ地域の活力を生かし、 加えて、学校のマネジメント力を高める取組となるよう検討をお願い したい。

今後の方向性	<p>子どもたちの農業体験学習の幅が広がるよう、他校での実践例の紹介や、農業関連の地元企業を調査研究し、新たな体験学習やこれまでの活動の横展開を図りたい。</p> <p>さらに学校担当者との連携を強化し、学校が企画しやすい形で取り組めるよう検討したい。</p>
--------	--

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	燕キャプテンミーティング
3年度達成目標	各学校の新しいリーダー（またはリーダー候補）が、リーダーとしての心構えについて学ぶとともに、コミュニケーション能力や課題解決能力などを育成し、望ましい集団づくりに活かす能力を身に付けさせる。
目標の達成状況	参加者数は、131人（目標100人、令和2年度123人）、参加生徒の事後アンケートで「今後の活動の参考になった」と答えた参加者の割合は96.2%（目標100%、令和2年度97%）であった。
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> <p>・令和3年度 第1回 燕キャプテンミーティング</p> <p>日時：令和3年11月23日（火）[勤労感謝の日]9時～12時</p> <p>会場：吉田産業会館（2階 多目的大ホール）</p> <p>講師：みらいず works</p> <p>内容：よりよい集団づくりを目指して （ワークショップ形式）</p> <p>・令和3年度 第2回 燕キャプテンミーティング</p> <p>日時：令和3年11月27日（土）9時～12時</p> <p>会場：吉田産業会館（2階 多目的大ホール）</p> <p>講師：ミズノトラッククラブ（陸上）</p> <p>飯塚翔太氏（東京オリンピック出場 100m・200m）</p> <p>金井大旺氏（東京オリンピック出場 110m ハードル）</p> <p>進行：高橋なんぐ氏（ナマラエンターテイメント）</p> <p>内容：トップ選手はいかにして力をのばしてきたか （トークショー形式）</p>
自己評価	みらいず works を講師とした「よりよい集団づくり」をねらいとしたワークショップ（ファシリテーション研修）を行った。参加生徒は、所属する集団の課題や改善アイデアを出し合い、意見を繋ぎ合わせていく活動をとおして、ファシリテーションのスキルを学びながら、話し合う活動のよさを感じることができた。

<p>自己評価</p>	<p>ミズノトラッククラブに所属する 2 名のオリンピックを講師としたトークショーでは、進行役の高橋なんぐ氏が講師のアスリートとしての考えや経験談や、参加生徒からの質問を引き出し、実技（直接指導）を交えながらの研修とすることができた。</p> <p>募集について、案内文書は各学校から配布、申込は直接学校教育課へとした。各学校が自校生徒の参加状況を把握することができず、二次案内の際に声をかけづらいということがあった。募集方法などについて検討や見直しが必要である。</p>
<p>評価委員の評価</p>	<p>取組のねらいについて、この年代は、リーダーとしての責任に悩むことも考えられるので、悩みを共有し合う横の繋がりがつくられるのはとてもよい。</p> <p>講師の選定について、キャリア教育の視点で講師を選定するのがよいのではないか。燕市内、身近な関係の中にもリーダー（市内企業、事業所）はいる。トップアスリートを講師とすることも、大変魅力的であるが、身近な先輩、身近な関係の中からリーダー育成にふさわしい講師を選定することも考えるのがよい。</p> <p>フィードバックについて、各校のリーダーが集まって意見を交流させているので、各校に戻ってどのようにフィードバックされて、改善が進んでいったのかという視点ももってほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>リーダーを育成、望ましい集団づくりの目的にふさわしい活動となるよう、かつ、講師の選定や、その後の各校や各集団にフィードバックすることができるよう、研修内容、活動内容を検討し計画を行う。</p> <p>講師については、地域の人材に目を向け、参加生徒にとって身近で、より具体的な体験、講話が伝えられる方を選定することも検討したい。</p>

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	Good Job つばめ推進事業
3年度達成目標	<p>ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り拓き自立して生きていく力を育成することを目指すとともに、家庭や地域、産業界と連携して、中学生の職場体験活動の充実を図ること。</p>
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験活動実施日数（1校あたり） 目標：5日 実績：5日 （職場体験3日、キャリア講演会1日、マナー講習会1日） ・ 「将来の夢や目標を持っている」に肯定的評価をした生徒の割合 目標：80% 実績：72% ・ 「職場体験は自分にとって有意義でしたか」に肯定的評価をした生徒の割合 目標：95% 実績：96%
取組の概要	<p>1学年を対象に、キャリア講演会を1日実施し、2学年を対象に、マナー講習会1日と、職場体験3日を実施した。なお、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるため、現地での職場体験でなく、オンラインでの職場体験とした。</p>
自己評価	<p>本年度の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みると、職場体験を中止せず、オンラインとして提供できたことは、大変よかったと考える。実際、アンケートで「オンライン職場体験は自分にとって有意義でしたか」の質問に対して、96%の生徒が肯定的な回答で、コロナ禍前と比べても遜色がなかった。コロナ禍であってもできることを令和4年度も継続していきたい。</p>
評価委員の評価	<p>オンラインの良さを100%生かせるように、今後もよりよい方法を試行錯誤して行ってほしい。</p> <p>コロナ禍であっても、オンラインで実施できたことはよかった。</p> <p>いろいろな職業を体験させることも大事だが、自分の仕事にこだわりをもち、夢を語ってくれる人に出会わせることも大切。人の生きざまを学ぶことで、「〇〇という仕事で、～な人になりたい」ということにつながる。</p> <p>職場体験後の学校、生徒の様子について把握していくことも大切。</p>

今後の方向性	「自分の将来を切り拓き自立して生きていく力を育成すること」が大切である。それを実現するためにどのような活動を行うかを念頭に置いて、そのときの状況に応じた、もっともよい形式を探していく。
--------	--

【所管：学校教育課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	児童館運営事業
3年度達成目標	<p>新しい生活様式を取り入れ、工夫することでイベントを開催し、子どもの健全育成の場、親子のふれあい交流の場としての機能を果たす。</p>
目標の達成状況	<p>令和4年2月を臨時休館とし、開館時間を短縮するなどの影響により一般来館者を中心に来館者数は大幅に減少した。一方で、来館できない方が子育てに関する心配や不安を相談しやすい環境とするため、オンライン相談の受付を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館7施設年間合計来館者数 27,061人（前年比53.9%） ・子育てコンシェルジュ相談実績 2,662件（うちオンライン5件）
取組の概要	<p>鑑賞や工作系の「静」のイベントだけでなく、感染症対策をしたうえで、合唱団、ラグビー体験、新体操などの体育館を使った「動」のイベントを実施した。</p> <p>昨年度から子育て支援員研修修了者を「子育てコンシェルジュ」に任命し、各施設に配置。相談業務の強化とともに令和3年度はオンライン相談を受けられる体制とした。</p>
自己評価	<p>臨時休館、開館時間の短縮など難しい施設運営を強いられた。しかし、対策をしっかり講じたうえで、イベントを実施するなど、一工夫加えたことで、イベントを企画する職員にとっても、新しい発想を生み出す経験となった。来年度以降も、アンテナを張り、状況に合わせたイベントを企画していきたい。</p> <p>子育てコンシェルジュ事業については子育てニーズの多様化により専門的なスキル習得の必要性が高まっているため、コンシェルジュの任命数を増やし、層を厚くしていく。また、オンライン相談の体制が整ったため、今後は周知拡大を図っていく。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>児童館の運営は「空間の提供」と「相談の場」の2つの側面があり、子育てコンシェルジュ事業は評価できるものである。児童館などに勤務する職員は研修の機会が少ないため、今後も研修の場を提供してほしい。また、子育てコンシェルジュの修了者へのフォローアップも継続して行ってほしい。</p> <p>現代社会においては、施設間で悩みを相談することや、支援体制を共有するシステムを構築することは必須といえる。こうしたネットワーク体制の強化も図ってほしい。</p> <p>悩みを相談するところまでたどり着けない人もいると考えられるので、方策、周知について検討してほしい。</p> <p>方策の一つとして看護師や食生活アドバイザーなどの力になってくれる人材、団体があるので、常駐してもらい相談しやすい体制とすることも考えられる。</p> <p>相談対応というのは似たような内容と言えど、本質的には一人ひとり違うものであり、大変な仕事である。庁内の連携を密にし、相談業務にあたってほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>児童館などに勤務する職員へは引き続き研修機会を設け、子育てコンシェルジュなど子育てに関する相談に対応できる職員数を増やしていく。並行して事例検討など、定期的にフォローアップを行い、質を高める工夫に努める。</p> <p>オンライン相談の周知と活用に課題があるため、周知先や媒体を見直すとともに、動画などを活用して相談に対する不安の解消に向けて取り組む。</p> <p>子育てコンシェルジュは、傾聴を通して相談者の悩み（本質的な気持ち）を聴き、関係機関に繋ぐことも重要である。そのため子育て支援課としてコンシェルジュが庁内での連携、地域資源を活用できるように、職員間でお互いの知識や経験を共有できる場、学ぶ場の提供を図る。</p>

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	療育支援事業
3年度達成目標	園における特別な配慮を要する子どもの支援体制の整備として、園内の連携や協働、関係機関との調整窓口を担う「発達支援コーディネーター」の育成と配置について、モデル園を選定した取組を実施し、今後の着実な配置拡充につなげていく。
目標の達成状況	モデル園（公立園2か所）に発達支援コーディネーターを配置し、早期から組織的に対応できる支援体制を整備した。
取組の概要	<p>○発達支援コーディネーターの配置と育成研修</p> <p>モデル園の主査級保育士を発達支援コーディネーターとして指名し、重点的に育成研修を実施するとともに、今後の配置拡充に向け、モデル園以外の主査級保育士などに対しても研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体研修〈年3回〉 <ul style="list-style-type: none"> 対象：公立園の主査級保育士（全員） 私立園のコーディネートを担う者（希望制） 内容：コーディネーターの役割 個別の支援計画・指導計画の活用 保護者支援 ・実践研修〈モデル園に対して各6回〉 <ul style="list-style-type: none"> 対象：モデル園の発達支援コーディネーター（主査級保育士） 内容：子どもの観察ポイントと支援策 市の支援体制 園内ケース検討の実践 など <p>○園長向けの説明会と実践報告会</p>
自己評価	<p>モデル園の発達支援コーディネーターは、研修をもとに徐々に役割を担うようになり、一定の研修効果があったと考える。</p> <p>また、園長への説明や実践報告、モデル園以外に対しても研修を実施したことは、今後の拡充実施に向けた理解促進の機会となった。</p> <p>モデル園を選定した取組を踏まえ、今後、着実な育成と配置の拡充を行い、支援体制の整備を図っていく必要がある。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>幼児教育は建築物で例えると基礎工事にあたる大切な時期であり、国も早期からの充実を推進している。特別な教育的ニーズのある子どもにとって支援体制が整ってきたということは、大いに評価されるべきものと思う。</p> <p>また、親にとっては些細なことでも心配になるが、最初から専門機関への相談は躊躇する。身近な園ならば気軽に相談することができ、コーディネーターを中心とした体制で適切に対応されるのはとても助かることである。</p> <p>さらに、園の支援体制が整備されることによって多様な子どもたちが一緒に過ごしやすくなり、関わりあいの経験が将来の子どもたちの考えや価値観に良い影響をもたらすものになると考える。</p> <p>本事業の立ち上げから体制構築の取り掛かりまでには大変な苦労があったが、よくここまで辿り着いたと思う。</p> <p>今後に向けて、園の民営化なども見据えた取組や、就学時における連携の充実を期待するとともに、ぜひ引き続き取組を推進していただいたい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>市全体の支援体制の平準化を目指し、全ての公立園において発達支援コーディネーターの着実な配置拡充と資質向上を図る。それとともに私立園に対しては、各園の実情にあわせて市の研修会や巡回訪問を利用していただけるよう周知に努め、必要に応じて育成支援に取り組む。また、個別の支援計画などを活用した就学時の丁寧な引継ぎを行う。</p>

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	保育所広域入所委託事業																																			
3年度達成目標	広域入所委託の実施に対して適切な委託料の交付を行うことで、仕事と子育てを両立するための多様な保育サービスの充実を図る。																																			
目標の達成状況	<p>令和3年度入所者数：44名</p> <table border="1" data-bbox="488 483 1343 1317"> <tbody> <tr> <td data-bbox="488 483 1002 600" rowspan="2">私立保育園：15名</td> <td data-bbox="1008 483 1193 539">三条市</td> <td data-bbox="1200 483 1343 539">14名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 544 1193 600">新潟市</td> <td data-bbox="1200 544 1343 600">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 604 1002 958" rowspan="6">私立こども園：12名</td> <td data-bbox="1008 604 1193 660">新潟市</td> <td data-bbox="1200 604 1343 660">4名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 665 1193 721">三条市</td> <td data-bbox="1200 665 1343 721">4名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 725 1193 781">長岡市</td> <td data-bbox="1200 725 1343 781">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 786 1193 842">見附市</td> <td data-bbox="1200 786 1343 842">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 846 1193 902">加茂市</td> <td data-bbox="1200 846 1343 902">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 907 1193 963">出雲崎町</td> <td data-bbox="1200 907 1343 963">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 967 1002 1023">私立幼稚園：1名</td> <td data-bbox="1008 967 1193 1023">三条市</td> <td data-bbox="1200 967 1343 1023">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 1028 1002 1137" rowspan="2">小規模保育所（私立）：11名</td> <td data-bbox="1008 1028 1193 1084">三条市</td> <td data-bbox="1200 1028 1343 1084">10名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1088 1193 1144">五泉市</td> <td data-bbox="1200 1088 1343 1144">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 1149 1002 1317" rowspan="3">公立保育園：5名</td> <td data-bbox="1008 1149 1193 1205">弥彦村</td> <td data-bbox="1200 1149 1343 1205">3名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1209 1193 1265">新潟市</td> <td data-bbox="1200 1209 1343 1265">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1270 1193 1317">三条市</td> <td data-bbox="1200 1270 1343 1317">1名</td> </tr> </tbody> </table>			私立保育園：15名	三条市	14名	新潟市	1名	私立こども園：12名	新潟市	4名	三条市	4名	長岡市	1名	見附市	1名	加茂市	1名	出雲崎町	1名	私立幼稚園：1名	三条市	1名	小規模保育所（私立）：11名	三条市	10名	五泉市	1名	公立保育園：5名	弥彦村	3名	新潟市	1名	三条市	1名
私立保育園：15名	三条市	14名																																		
	新潟市	1名																																		
私立こども園：12名	新潟市	4名																																		
	三条市	4名																																		
	長岡市	1名																																		
	見附市	1名																																		
	加茂市	1名																																		
	出雲崎町	1名																																		
私立幼稚園：1名	三条市	1名																																		
小規模保育所（私立）：11名	三条市	10名																																		
	五泉市	1名																																		
公立保育園：5名	弥彦村	3名																																		
	新潟市	1名																																		
	三条市	1名																																		
取組の概要	家庭の事情や保護者の勤務形態、里帰り出産などの理由により市内の保育園への通園が困難な児童について、市外の保育園などへ保育を委託するもの。																																			
自己評価	<p>核家族化が進行し、女性の社会進出が進む中、出生数は減少しているものの、保育ニーズは増加し多様化している。</p> <p>家庭の事情や保護者の勤務形態、里帰り出産などの理由により市内の保育園への通園が困難な児童について、市外の保育園などへ保育を委託することで園児の広域入所を実施し、保護者の希望に沿うよう支援した。</p>																																			

<p>評価委員の評価</p>	<p>共働き世帯の増加により、保護者の就労場所から近い保育園に預けたいなどの保育ニーズに対応できる事業を継続してほしい。</p> <p>広域入所事業など、保護者の希望に沿った細やかな保育サービスがこれからますます必要となると思う。</p> <p>引き続き、丁寧に保護者の意見を聴きとり、サービス向上に努めてほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>女性の社会進出により、男性女性によらず、子育て世帯への保育サービスの提供が必要である。</p> <p>家庭の事情や、保護者の就労場所の都合により、市内の保育園などへの通園が困難な児童について、引き続き市外の保育園へ保育を委託する。</p>

【所管：子育て支援課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	中央公民館事業
3年度達成目標	それぞれのライフステージや分野のニーズに対応した学習機会などを提供するとともに講座や自主的な活動などの成果発表の場を設けることにより、市民の教養の向上並びに文化活動の発展などを図る。
目標の達成状況	新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるために中止、また人数を制限しながら実施した。市民教養講座及びつばめ目耕塾において、参加者アンケートを実施し、参加者の満足度は、市民教養講座では78.5%、つばめ目耕塾では90.9%という結果となった。
取組の概要	<p>①市民教養講座（実施11講座）</p> <p>②子ども体験講座（実施2講座、中止1講座）</p> <p>③食育推進講座（らんらんランチ会 実施3講座、中止2講座）</p> <p>④燕大学（実施3講座）</p> <p>⑤つばめ目耕塾（実施9講座）</p> <p>⑥初めてのスマホ教室（実施全4回）</p> <p>⑦中央公民館文化祭（10月30・31日 延919人参加）</p> <p>⑧市民教養講座フェスティバル（3月5・6日 延394人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座については、専門的知識を持った講師を招き、主に講義形式による講座運営を行った。 ・高齢者向けのスマホ教室は、本人の実機を使いながら行った。 ・中央公民館文化祭、市民教養講座フェスティバルについては、活動団体や講座生が自ら会場レイアウトなどを考えて、成果発表の場を作りあげた。
自己評価	<p>令和3年度の中央公民館利用者数は、39,755人であった。（令和2年度27,362人）</p> <p>令和2年度と比較し少しずつではあるが利用が増加しているが、中央公民館はワクチン接種会場にもなっており、未だにコロナ禍の影響は大きい。（ワクチン接種の入館者は利用人数に含まず。）</p> <p>つばめ目耕塾においては、日常生活などで役立つ知識や普段触れることができない機会を提供することができた。各講座とも満足度も高いことから市民の教養の向上に寄与したと考える。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>学ぶだけでなく、その後自分自身で使える講座が多く、満足度が高い。講座の内容も工夫されている。</p> <p>高齢者にも学習できる場と空間を保障していくことは大切なこと。仕事が終わった後も学習できる。年配者が生き生きしていることがフォローされている。講座の選定にもう少し市民の意見を取り入れられると面白いものができると思われる。</p> <p>デジタルネットワーク社会が構築されてきている中で、LINE などを利用した申込みがあっても良いと思う。更なる充実を期待したい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>利用者アンケートによるニーズやその時々 of 社会的関心事を見据えて講座の内容を工夫して行う。また、受講者の満足度だけでなく、生活に役立つ知識や、社会的に身につけていただきたい講座など、地域の偉人や歴史などの講座も引き続き行う。(例：令和3年度の目耕塾「相続とエンディングノートの書き方」、「良寛は天才だった!？」、燕大学「大河津分水と長善館」(全3回)など)</p>

【所管：社会教育課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	図書館管理運営費
3年度達成目標	<p>燕市立図書館、吉田図書館、分水図書館の3図書館の管理運営を一括して指定管理者に委託し、民間事業者などのノウハウを最大限に活かした高い専門性と豊富な経験を持つ職員によるきめ細かなサービスの提供により、利用者の利便性の向上や利用の促進を図る。</p> <p>また令和3年2月からサービスを開始した非来館型図書貸出システム「燕市電子図書館」についても、併せて利用者サービスの向上を図る。</p>
目標の達成状況	<p>○図書館の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 目標：137,387人 実績：182,090人 達成率132.5% ・貸出利用者数 目標：58,066人 実績：67,465人 達成率116.2% ・貸出冊数 目標：254,637冊 実績：281,705冊 達成率110.6% <p>入館者数は、目標値（前年度）を上回ったものの、令和2年2月頃から流行が始まった、新型コロナウイルス感染症の影響から令和元年度（入館者数：214,722人、貸出利用者数：69,508人、貸出冊数：290,907冊）と比較していずれの項目も下回った。</p> <p>○電子図書館の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出利用者数 目標：7,000人 実績：6,837人 達成率97.7% <p>電子図書館については、令和3年2月からサービスを開始した。開始当初は利用者数が大きく伸びたが、月々の状況をみると、約500人/月程度で推移していたものの、10月から低調となっていた。その後、2月の電子図書館体験キャンペーンを実施したことで若干回復した。</p>

<p>取組の概要</p>	<p>令和 3 年度から再選定により現指定管理者による管理運営。引き続き、開館時間を延長するとともに利用しやすい書架の配置や資料の充実に努めている。また、各年齢層に合わせたおはなし会やイベント、体験事業などを定期的実施するとともに、児童・生徒に対し図書館を使った調べものや研究のサポートを行うなど、各種事業を積極的に実施した。</p> <p>[開催事業]</p> <p>読み聞かせ事業・体験事業・リサイクル事業・読書普及事業 ボランティア育成活用事業・学校との連携事業</p> <p>計 41 事業 185 回 参加人数 5,605 人</p>
<p>自己評価</p>	<p>図書の貸出業務の他に、積極的に自主事業の計画・実施を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が感染症流行以前と比較して半数程度に低下している。しかしながら、令和 2 年度と比較すると中止事業は減少しており、感染症予防のため参加者数を限定せざるを得なかったものの、緩やかではあるが、参加者数は回復傾向が見られた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に配慮した対応として、電子図書館サービスを導入するなど、感染症対策を徹底した上で利用者サービスの向上を図ることが出来た。</p> <p>今後も引き続き、丁寧なカウンター業務、適切な選書・配架に加え、充実した自主事業を実施し、図書館利用者の増と来館者に本を借りてもらえるような取り組みが必要である。</p>
<p>評価委員の評価</p>	<p>とても自主事業が多く、沢山の方に参加していただいているようで、専門的な知識を有している事業所に任せた成果だと思う。指定管理者に対し、厳しい目と応援する目という 2 つの視点で、程良い距離で運営していただきたい。</p> <p>まちの書店が減少し、本も紙から電子に移行しているが、ネットでは本を選んでいるというよりも、選ばされている感じがする。図書館は行政サービスなので、そういったこととは違った目線で、図書館にしかできないような企画や品揃えをしてもらえると、図書館として生きていくと思う。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>図書館は、地域に開かれた学びの場として確保されているという部分がとても大きく、新刊図書だけを大々的にアピールする場ではない。各地域の図書館には古文書や資料があると思うので、書庫に眠らせておくのではなく、どんどん地域に開いていってほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>指定管理者の知見を活かし、適切な選書を行うとともに、地域資料の充実を図り、歴史講座を開催するなど、積極的に資料の活用について推進を図る。また、図書館の役割や、図書館にしかできないこととは何かを常に考え、今後も指定管理者と協力し、満足度の高い企画や施設運営に努める。</p>

【所管：社会教育課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	文化財保護事業
3年度達成目標	魅力ある地域づくりのため、市内に所在する文化財の保存に努め、かつ活用を図ることで市民の地域理解の一助とし、地域への誇りと愛着を育み、文化財保護意識の向上を図る。
目標の達成状況	<p>指定等文化財の説明板を修繕し、「つばめ文化財だより」の発行や市公式ホームページなどで文化財の所在地情報を公開して、文化財情報の発信と周知に努めた。</p> <p>市指定文化財の保存修理の経費に対し補助金を交付し、文化財の継承に努めた。</p> <p>国登録有形文化財「燕市旧浄水場配水塔」の安全対策について検討し、今後の保存方針について検討した。</p> <p>文化財収蔵庫の外壁及び屋根の修繕工事を行い、文化財の適切な保存管理に努めた。</p>
取組の概要	<p>○指定等文化財の周知・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定等文化財の説明板などの修繕 2件（木造十六歳孝養太子立像、長善館址碑） ・市公式ホームページのガイドマップに文化財の所在地を掲載した。（「燕市の文化財」ページとリンク）。 ・小学3年生の社会科副読本付録地図に各地区の主な文化財を掲載した。 ・「つばめ文化財だより」を発行し、市公式ホームページで公開するとともに市内学校や文化財所有者などに配布した。 <p>○指定等文化財保存修理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保存事業補助金の交付 3件（諏訪神社[吉田上町]、薬医門[地藏堂]、若宮社[雀森]） <p>○国登録有形文化財「燕市旧浄水場配水塔」の安全対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道の塔の安全対策に関する技術委員会で、今後の在り方を検討した。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財収蔵庫の外壁及び屋根の修繕を行い、文化財の適切な保管に供した。

<p>自己評価</p>	<p>指定文化財の保存修理に対する補助金交付や文化財の保管施設である文化財収蔵庫の修繕工事により、文化財を良好な状態で後世へ継承していくことができた。</p> <p>旧燕市浄水場配水塔については、外壁剥落に伴う安全対策の検討を2年間行い、今後の方針を決定できた。</p> <p>文化財情報の発信として、文化財の位置情報公開が課題であったが、市公式ホームページへの掲載や小学生向けの地図に掲載することでこれまでより広く周知することができた。</p>
<p>評価委員の評価</p>	<p>市所有物件は市の考えと財政で保存修理できる。個人所有のものは個人財産で踏み込めない部分もあるが、なんとか保存できるよう応援していただきたい。また、市内には登録有形文化財も多い。「たより」も良いが、もっと市民への浸透を考えた周知を工夫すると良い。例えば、工場の祭典で燕の魅力の一つとして発信するなど、広くPRに努めてほしい。</p> <p>建物や物を残すことは、その背景（できた経緯や守ってきた人の思いなど）を引き継ぐことが大事。思いの継承を手厚くすることで、住民の理解を得やすいと思う。「モノを残す＝人の思いを残す」ことに焦点をあて、取り組んでほしい。</p> <p>文化財看板などは定期的な点検で修理を行っているようだが、ぜひ早めの手当をお願いしたい。修理がないまま損傷が進んでいる看板や文化財がある。中長期的なビジョンをもちながら、保存修理に力を入れているようなので、引き続き尽力いただきたい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>文化財の保存は、所有者などと十分に協議しながら必要な保護措置をとっていく。</p> <p>また、文化財の確実な継承のため、文化財の活用は重要である。現在、市公式ホームページなどで文化財の周知に努めているが、市が実施するイベントでの周知・活用など、より効果的な方法を検討する。</p>

【所管：社会教育課】

【第2次燕市学校教育基本計画】

第2次燕市学校教育基本計画の評価

～令和3年度の指標について～

●令和2年4月16日に実施が予定されていた「令和2年度全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響などの考慮により実施されなかったため、比較用の数値はR1のものを用いています。

目標1：「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます。

■目標の達成状況

○ 全国平均より高い
▼ 全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	R1	R3	R3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	80.4%	○ 80.2%	○ 71.5%	57.1%	<83%>	<85%>
		中学3年生	33.7%	▼ 44.9%	▼ 43.1%	43.7%	<35%>	<40%>
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	86.2%	▼ 80.1%	▼ 77.1%	80.3%	<90%>	<90%>
		中学3年生	71.5%	▼ 65.6%	○ 71.6%	68.6%	<75%>	<80%>
全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※R1より、国語、算数、数学の全4教科 (H30までは全8教科)	全国学力・学習状況調査	小学6年生	(4教科)	1教科	2教科 (国・算)		<2教科>	<2教科>
		中学3年生	(2教科)	0教科	0教科 (国・数)		<2教科>	<2教科>
標準学力検査偏差値平均50以上の 中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中1：2教科(英語除く) 中2：3教科 中3：3教科	全国標準学力調査(NRT)	中学1年生	2教科	2教科	2教科		<2教科>	<2教科>
		中学2年生	3教科	2教科	1教科		<3教科>	<3教科>
		中学3年生	1教科	1教科	0教科		<3教科>	<3教科>
「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	97.7%	○ 96.8%	○ 96.8%	94.9%	<100%>	<100%>
		中学3年生	93.0%	○ 95.3%	○ 95.6%	92.8%	<100%>	<100%>

目標2：「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R1	R3	R3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合	研修講座アンケート	教職員	72.3% ※H26	93.5%	98.1%		<75%>	<80%>
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	89.0%	○ 86.2%	○ 88.8%	83.4%	<90%>	<92%>
		中学3年生	84.4%	○ 83.1%	○ 85.9%	81.1%	<85%>	<87%>
「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	75.4%	○ 86.2%	○ 82.8%	76.9%	<78%>	<80%>
		中学3年生	70.0%	○ 76.6%	○ 83.9%	76.2%	<73%>	<75%>
「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	100.0%	○ 100%	○ 100%	94.2%	<100%>	<100%>
		中学校	80.0%	○ 100%	○ 100%	92.0%	<100%>	<100%>

目標3：学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R1	R3	R3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ①教育課程に関する共通の取組 ②授業研究などの合同研修 ③令和元年度の全国学調の分析結果について、成果と課題の共有 ※R3項目一部変更 ※R1は ①教育目標の共有 ②授業研究などの合同研修 ③教育課程に関する共通の取組 ※H29から3項目に変更	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	66.7%	①－ ▼②64.3% ○③92.9%	○①66.7% ○②60.0% ○③66.6%	①58.9% ②57.2% ③47.8%	<80%>	<80%>
		中学校	60.0%	①－ ○②80.0% ▼③60.0%	▼①60.0% ▼②20.0% ○③80.0%	①63.4% ②63.3% ③46.9%	<80%>	<80%>
学校支援ボランティア活動支援のべ回数	地域に根ざす学校応援団事業報告書	ボランティア	4,237回	4,492回	3,324回		<4,300回>	<4,400回>

目標4：安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R1	R3	R3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※R3はこの項目に変更。R1は「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」	全国学力・学習状況調査	小学6年生	94.5%	○ 96.5%	○ 90.3%	84.3%	<96%>	<98%>
		中学3年生	95.3%	▼ 93.4%	○ 88.8%	76.2%	<96%>	<98%>
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.5%	○ 91.4%	○ 94.2%	88.7%	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.8%	○ 88.1%	○ 93.2%	88.4%	<96%>	<98%>
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	96.8%	○ 98.7%	○ 97.8%	96.8%	<100%>	<100%>
		中学3年生	95.6%	○ 96.5%	○ 97.5%	95.8%	<100%>	<100%>
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.7%	○ 96.1%	○ 97.5%	95.5%	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.0%	○ 97.4%	○ 96.5%	95.0%	<96%>	<98%>

<評価委員の評価>

- ・さまざまな事業がこの数値にどう影響しているのか、分析してもらいたい。
- ・「分かる授業」を追い求めるだけでなく、「分からないこと」を明確にするなど、知的好奇心を高めることを前提にした学びができるようにしてもらいたい。
- ・学ばないと未来の選択肢が狭まってしまうことを伝えてもらいたい。

<今後の方向性>

- ・学習面では学年が進むにつれ、学力検査などで結果に反映されない傾向がここ2年ほど顕著になった。コロナ禍の影響で、市教育委員会の緻密なサポートができなかったことが影響していると考えられる。そこで、高い意欲をもって主体的に学ぶための土台となる「読解力」の視点での授業づくりに向けて、指導主事が繰り返し学校訪問し、授業者とともに授業づくりを進めて行く体制を整える。また、次期燕市教育基本計画においては、自らの目標に向かう意欲や情意面を評価できるようにしたい。

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和3年4月26日（月）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告
（3）寄附報告

報告：報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第2号 新規共催・後援申請について

議案：議案第23号 燕市学校薬剤師の委嘱について

議案第24号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第25号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の委嘱について

議案第26号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

議案第27号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第28号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第29号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第30号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

その他：（1）令和3年第2回燕市議会臨時会について（教育委員会関係抜粋）

1）専決処分の報告（令和2年度燕市一般会計補正予算）について

2）令和3年度燕市一般会計補正予算について

3）吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の新しい料金体系（素案）について

4）閉園後の地藏堂保育園・笈ヶ島保育園の利活用について

（2）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

（3）「危機管理マニュアル（異物混入・食中毒・ノロウイルス）」の改訂について

●5月定例教育委員会【令和3年5月31日（月）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告
（3）寄附報告

報告：報告第3号 共催・後援の教育長専決報告について

報告第4号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議案：議案第31号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第32号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第33号 燕市スポーツ推進審議会委員及び臨時委員の委嘱について
議案第34号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について
議案第35号 第3次燕市学校教育基本計画検討委員会委員の委嘱について
その他：(1) 燕市全天候型子ども遊戯施設の整備に向けたアンケート調査の実施について

●6月定例教育委員会【令和3年6月29日（火）】

諸報告：(1) 教育長職務代理者の指名について
(2) 行事報告及び行事予定
(3) 教育長報告
(4) 寄附報告

報告：報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 新規共催・後援申請について

議案：議案第36号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第37号 燕市ファミリー・サポート・センター事業における利用料の減免等の特例に関する要綱の制定について

その他：(1) 令和3年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

(2) 教職員・保育士の新型コロナウイルスワクチン接種について

●7月定例教育委員会【令和3年7月27日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告

報告：報告第6号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第5号 新規共催・後援申請について

議案：議案第38号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第39号 令和4年度中学校教科用図書採択について

その他：(1) 「燕市環境審議会」委員の推薦について

●8月定例教育委員会【令和3年8月24日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第7号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第6号 新規共催・後援申請について

●9月定例教育委員会【令和3年9月28日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第8号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

その他：(1) 令和3年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

2) 令和3年度燕市一般会計補正予算（第8号）

(2) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

●10月定例教育委員会【令和3年10月29日（金）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報告：報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

議案：議案第40号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

●11月定例教育委員会【令和3年11月19日（金）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

その他：(1) 令和3年第4回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 令和3年度燕市一般会計補正予算（第9号）

●12月定例教育委員会【令和3年12月23日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報告：報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 9 号 新規共催・後援申請について

協議第10号 松長小学校の今後の在り方に関する方針について

議案：議案第41号 燕市児童館条例施行規則の一部改正について

議案第42号 燕市部活動の在り方検討委員会設置要綱の制定について

その他：(1) 令和3年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

2) 契約の締結について（吉田トレーニングセンター大規模改修工事（建築））

3) 契約の締結について（吉田トレーニングセンター大規模改修工事（機械設備））

4) 令和3年度燕市一般会計補正予算（第12号）

●1月定例教育委員会【令和4年1月27日（木）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第1号 新規共催・後援申請について

協議第2号 燕市スポーツサポーターバンク認定指導者育成プログラムの公認について

議案：議案第1号 燕市部活動の在り方検討委員会委員の委嘱について

その他：（1）令和4年第1回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1）訴えの提起について

2）令和3年度燕市一般会計補正予算（第13号）

（2）令和3年度燕市学校給食喫食量調査について

●2月定例教育委員会【令和4年2月22日（火）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議案：議案第2号 燕市地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業プロポーザル方式業者選定委員会設置要綱の制定について

議案第3号 燕市なかまの会要綱の一部改正について

議案第4号 燕市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部改正について

議案第5号 燕市立小・中学校管理職の人事異動について

その他：（1）令和4年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）令和4年度燕市一般会計予算

2）令和3年度燕市一般会計補正予算（第14号）

●3月定例教育委員会【令和4年3月25日（金）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第3号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 新規共催・後援申請について

議案：議案第6号 燕市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について
議案第7号 燕市学校給食センター調理配送等業務委託事業者評価委員会設置要綱の制定について

議案第8号 燕市西部学校給食センター調理配送等業務プロポーザル方式業者選定委員会設置要綱の一部改正について

- 議案第 9 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
- 議案第10号 学校医等の委嘱について
- 議案第11号 幼稚園における嘱託歯科医の委嘱について
- 議案第12号 保育園及びこども園における嘱託歯科医の委嘱について
- 議案第13号 燕市立小中学校における事務主任の任命について

その他：(1) 令和4年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 一般質問の概要について
- 2) 燕市教育委員会教育長の任命について
- 3) 燕市GIGAスクール構想について
- 4) 議会の議決に付した建設工事の議決を要しない変更契約について（報告）

2 総合教育会議

- 令和3年度 燕市総合教育会議【令和4年1月27日（木）】

議題：(1) 次期教育大綱の方向性について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
10月27日（水）	燕東小学校	各学年の授業を見学
	燕凶書館	施設の様子・絵本原画展を見学
	吉田中学校	各学年の授業を見学

4 教育関係会議

- ・全県教育長会議（4/19（月）新潟県自治会館）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（5/18（火）五泉市）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（千葉県市原市（書面開催））
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（糸魚川市（書面開催））
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/19（火）阿賀野市）